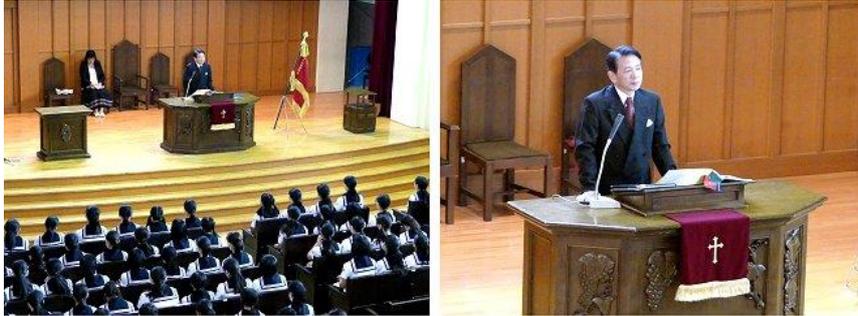


2017年8月28日

Klark Yoshida の校長室だより 2017年(4)

2017年度後期始業礼拝奨励



校長 吉田幸一

皆さん おはようございます。

この礼拝堂に、久方ぶりに皆さんの讚美歌の歌声が響き渡りました。学校に1ヶ月ぶりに活気が戻ってきたようです。本日は、同窓会より今年度からの新たな企画として本校生徒の留学を奨励する留学奨励金の進呈式を盛り込んだ関係で、夏休み中に活躍した部活動等の表彰を9月4日にします。

今日は、部活の大会出場やボランティア活動等の主だったものを紹介させていただきます。新体操部の中学生は東海大会から全国大会に出場しました。優秀な成績を収めました。吹奏学部は、この礼拝堂の長座布団カバー掛けに協力してくれました。クリーニングに出されたふかふかとした座布団からは、母の会のお母様方の愛情が伝わってくるようです。EKSサマースクールで5名の生徒が小学生の勉強を見てくれました。ハンドベル部は慈善演奏会の参加や県内の施設訪問で演奏してくれました。また、8月上旬に開催されたサマリトリートに参加した30名の英和生も、小学生のお世話をとても良くしてくれました。ありがとうございます。これらの活動に対するお礼の手紙が届いておりますので紹介します。「クリーニングを終えた礼拝堂の座布団とカバーを元に戻す作業をしました。吹奏楽部の生徒と顧問の先生にお礼を申し上げます」「雨でバーベキューや花火はできなかったけれど、その分英和生のお姉さんやお友達といっぱい いっぱい話しができてよかったと子どもの喜ぶ声を聞きました。よく面倒をみてもらってありがとうございました。」多くの部活や生徒たちもそれぞれ活躍してくれたことと思います。ここでは主だった活動について紹介しました。

皆さんは、今朝は早く目が覚めましたか。久しぶりに友だちに会えるから早く目が覚めたという生徒もいれば、今日から授業で明日から課題テストや実力テストがあるから憂鬱だなど目覚めが良くなかった生徒もいるかもしれません。今朝は幾分暑さが和らぎ、青空には秋の訪れを感じさせる鱗雲や翳雲に似た巻積雲が広がっていました。夏休み期間中は入道雲が何キロにもわたって広がる光景を見た生徒もいるかもしれません。青空に浮かぶ雲を見てい

ると、8月15日と8月6日・9日を思わずにはられません。

これらの日は第二次世界大戦が終結した終戦の日と広島、長崎に原爆が投下された日であります。今の日本は、平和で豊かな国として存立しています。最近では平和を脅かす懸念が全くないとはいえませんが、戦争や人類を滅ぼすような出来事が決してあってはなりません。平和であることを祈り、愛をもって人に接する言動を皆さんにはしてほしいと願っています。

本日の聖書の御言葉は、コリントの信徒への手紙 一 13章1節から7節の愛についてです。神様から与えられた命を愛のために尽くすことはとても大事なことです。愛というと大きな意味を感じるかもしれませんが、他者に対して思いやりの気持ちを持つ、あるいは優しい気持ちで接するなど、日常生活においてできることは沢山ありますから、本日は平和と愛について考える時間をもつていただけたらうれしく思います。

キリスト教の世界ではプロテスタント教会、カトリック教会と東方正教会が教派を超えて対話や協力をするという Ecumenism という考え方があります。この世界教会運動においては、いかなる国や民族においても、社会的な抗争や戦争のない平和な世界を望んでいます。インドの思想家で、不屈の意思でインドをイギリスから独立させ、インド独立の父といわれているマハトマ・ガンジーの言葉を皆で考えてみましょう。

There is no path to peace. Peace is the path.

平和への道はない。平和こそが道なのだ。

平和と愛について考える一日となりますように。